



市民の暮らし、生業守れ!

痛みを直視し 支える市政を

物価上昇が止まりません。その一方で年金削減や社会保険の負担増で、市民の暮らし・仕事はますます苦しくなっています。党市議員団は、市民の困難軽減に正面から取り組む市政を求め、6月議会に取り組みました。

今こそ消費税減税、国にきっぱり要求を

小島市議が市の姿勢を質す

物価高騰は大津市でも深刻です。食事を切り詰め、猛暑でもエアコンをつけられない、値上げしないと言っていないが売値上げが減るなど、苦しい声が党市議員団にも寄せられています。

でしたが、2学期以降はこれから業者と契約します。小島市議は、物価上昇分は市が負担し値上げしないよう求めました。市は適切な対応を検討すると答えるのみで明言を避けました。

自治体の役割果たせ

小島市議は、何よりも有効な消費税5%への減税と零細業者をつぶすインボイス中止を国に要望するよう求めました。しかし市は、消費税は社会保障の安定的財源であり要望する考えはない、と国言いなりの姿勢に終始しました。

小島市議はその他、中小事業者への継続支援の重要性や何も支援のない学生を救う政策を示し、市を追究。しかし、学生の実態を把握もせず、新たな支援制度を検討する考えもないと答弁するなど、

給食費と献立の保持を

大津市では、1学期は給食費の値上げや献立の変更はありません



市内のクリーニング店で実情を聞く小島市議

物価指数の前年比

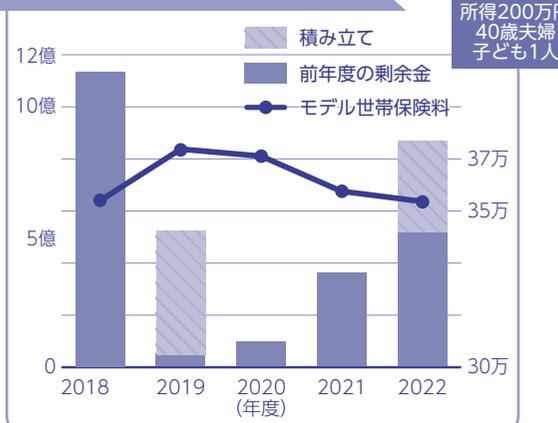
※2020年を100とした指数



高年齢者、自営業者などが加入する国民健康保険は、保険料の負担が協会けんぽの2倍以上と重く、家計を圧迫しています。昨年度の市国保会計の剰余金は5億6千万円、積立金は3億5千万円積み増しました。ところが今年度の保険料は県の標準保険料より高く、所得200万円のモデル世帯で35万円と、所得の17%以上を占める状況です。また家族が増えることに保険料が上がり、子どもでも1人3万6千円かかります。

柏木市議は、剰余金を使えば、モデル世帯で2万円も引き下げができることを示し、物価高騰の今こそ保険料の引き下げ、子どもの保険料の減額を求めました。

大津市国保会計の剰余金・積立金とモデル世帯保険料



◆柏木市議は他に、生活保護、新型コロナ対策について質問しました。

国保の剰余金 5億6,000万円！ 保険料の引き下げを

柏木市議が市を追究

市は、今後のために保険料を貯めておくと、市民の苦境をかえりみない答弁に終始しました。1人1万円の引き下げへ、引き続き追求します。



質問に立つ柏木市議

市は、市民の生活実態を直視せず、国の交付金でできる範囲の対策しか打ち出していません。あらゆる手立てを尽くし、市民生活と地域経済を支える緊急の取り組みが必要であり、引き続き強く求めていきます。

◆小島市議は他に、市北部の大規模太陽光発電設備について質問しました。

こんな時に 利用料 値上げ?!

市は相次ぐ物価高騰で市民が大変な中、行革の一環として勤労福祉センターの体育施設(アリーナ、軽スポーツ室、トレーニングルーム)利用料の値上げ案を提出。日本共産党市議員団以外の賛成で可決されてしまいました。

質問紹介

2022年6月通常会議

切実な問題取り上げ、改善迫る

誰も取り残さない防災対策 急げ



▲各世帯に配布されたハザードマップ

わからないことがあればお気軽にご相談ください

甚大な被害が発生した2018年の西日本豪雨は、多くの住民にとって「寝耳に水」の浸水だと言われています。被害予測を示すハザードマップはありましたが、十分伝わっておらず、重大な教訓の一つとされています。

昨年、大津市はハザードマップを更新し各戸に配布しました。杉浦市議は、マップの活用をはじめ、地域の災害リスクや防災体制について、住民と情報共有を進めるための市の取り組みを質しました。

杉浦 とも子市議

市は 出前講座や防災訓練で丁寧に説明すると答えるに留まりました。

その他の質問項目

- 市民病院・地域医療
- 子ども政策
- 市職員の処遇改善について

性暴力根絶へ 市が人権意識を

林 まり市議

男女共同参画が掲げられて長年経っても、性暴力が後を絶ちません。林市議は、最も身近で繰り返される痴漢の実態把握と、「犯罪」であることの周知徹底を求めました。

市のホームページにある「女性の防犯ポイント」は、「勇気と大声を出し、強い抵抗の意思をはっきり見せましょう」「自分の身を守るのは、まず自分自身」など、被害者に責任を押し付ける内容となっており改善を求めています。市役所から意識改革が必要です。

市は 調査は国任せで、周知についてもホームページに掲載しているとの消極的な答弁でした。

その他の質問項目

- コロナ後遺症・ワクチン副反応
- プラごみ削減について

学校のトイレ改修、今すぐに！

たてみち 秀彦市議



▶創立以来47年変わらないトイレ (唐崎小)

トイレに行くのを我慢する、ひどい臭いの中で勉強し、給食を食べるなど、古く汚いトイレが子どもたちの学校生活に悪影響を及ぼしています。市は改修を進めてはいますが、

すべての学校で完了するには16年かかるとのことです。

生活様式も変わっており、衛生面を考えても一刻も早い改修が必要です。立道市議は、国の補助金も活用し、計画を前倒しするよう求めました。

市は 計画を前倒しする考えはないとのつめたい答弁でした。

その他の質問項目

- ヤングケアラー
- 消費者保護・教育について

6月通常会議の審査

公共施設は市が責任をもって運営を

補正予算案には、国の臨時交付金を使い物価対策として、低所得の子育て世帯給付金の上乘せや、農林漁業者・中小企業者への支援策が盛り込まれました。一方、国言いなりで

民間任せの官民連携事業の調査委託費用なども計上されています。また、今後の市の公共施設をどのようにしていくのかを示す方針も議決されました。

いずれも民間のノウハウを活かすという言葉で、市の責任を果たす姿勢が乏しく、党市議団は問題点を指摘し改善を求めた上で賛成しました。

市民の不安が高まる今こそ、政府に意見を

市民の立場で政府に意見する意見書は、議会の大事な役割です。党市議団は、軍事費倍化や敵基地攻撃を叫ぶ岸田政権に対して、憲法9条に基づく平和外交を強めるよう求める意見書や、コロナ禍

と物価高騰の中でも子どもたちが健やかに成長できるよう対策を求める意見書などを提案しました。しかし、すべての意見書案が理由も示されずに否決されました。

くらしを守る 願いを否決

内容	日本共産党	(自民系) 新和会	(自民系) 湖誠会	公明党	市民ネット (民主系)	協生会	清正会	立志会 (自民系)
議案 市勤労福祉センターの利用料値上げ	×	○	○	○	○	○	○	○
意見書案 軍事対軍事でなく平和外交を強めることを求める	○	×	×	×	×	×	×	×
意見書案 物価高騰から国民を守る緊急対策を求める	○	×	×	×	×	×	×	×

○=賛成、×=反対 (他に10件の議案、8件の意見書案が提出されました)

みなさんとともに

日本共産党 大津市会議員団

杉浦とも子 090-4491-1522

たてみち秀彦 090-7105-3648

林まり 090-5045-2490

柏木けい子 090-1919-5298

小島よしお 090-5058-2832